

知的財産

2023年12月12日

知的財産部長

牧野 元博



1. 知的財産と知財活動



保有特許件数

約2万件
(国内・海外合計)

日本 19位*
米国 32位*
(日本企業中)

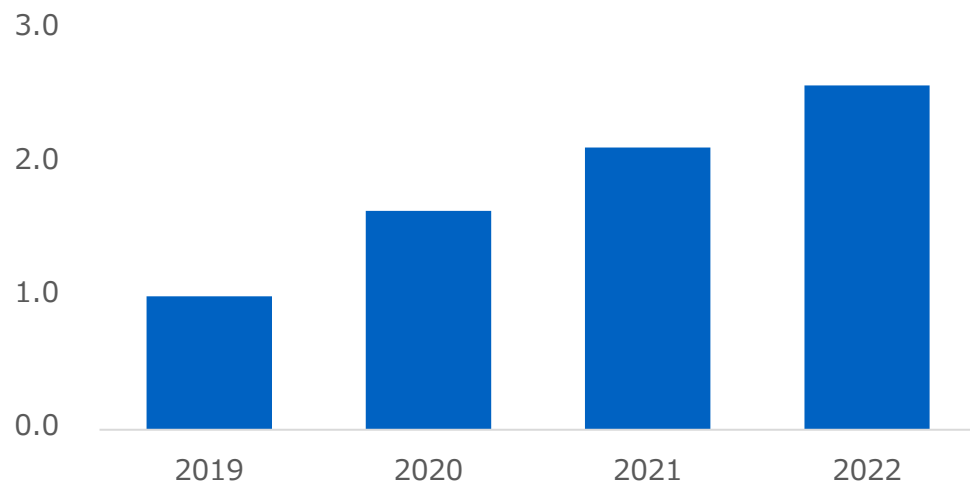
*当社調べ

知的財産への外部評価

Clarivate Top 100
グローバル・イノベーター
2年連続選出

特許価値*の推移

2019年度を1とした推移



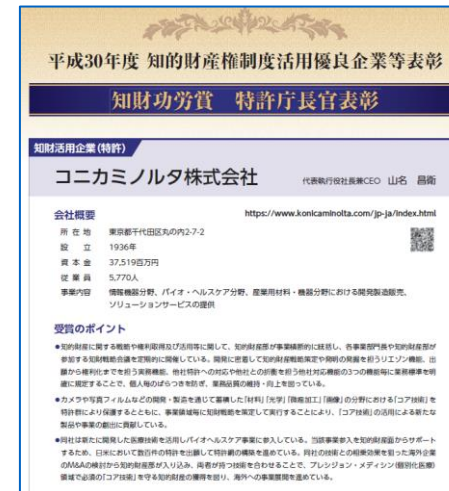
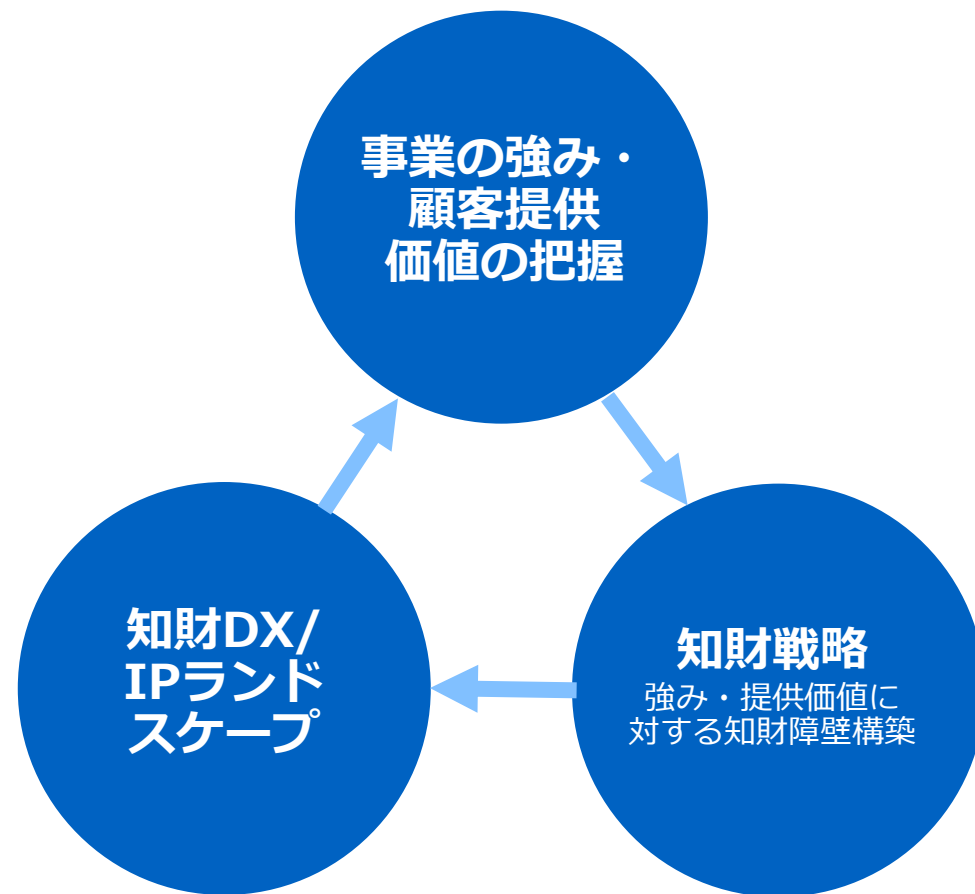
「影響力」「成功率」「グローバル性」
「希少性」の4つの要素で卓越性を評価し、
世界の革新的企業・組織上位 100 社を選出



* 株式会社パテントリザルトのBiz Cruncherで提供される権利者スコアを有効特許件数で割った値

知財活動の型

知財活動への外部評価



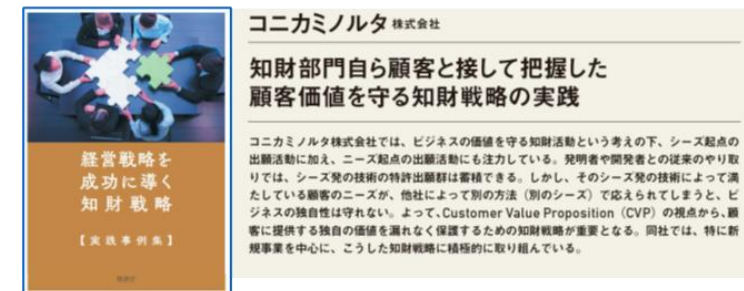
平成30年度知財功労賞 特許庁長官賞受賞

受賞ポイント

- ・事業横断的な知財活動
- ・事業トップとの知財戦略会議
- ・コア技術を活用した新製品・新事業創出への貢献

引用:https://www.jpo.go.jp/news/koho/tizai_koro/document/h30_tizai_kourou/panel_210.pdf

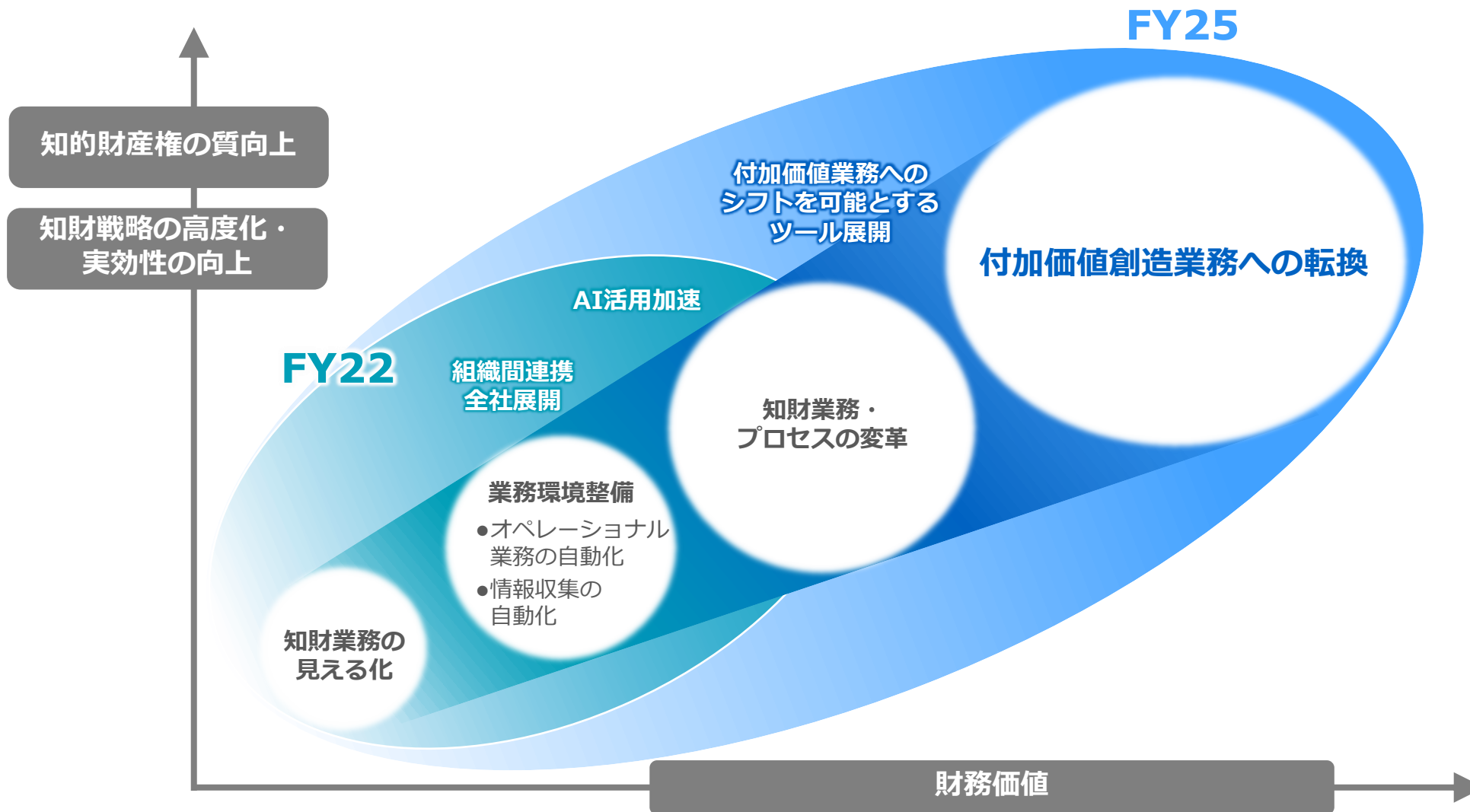
「経営戦略を成功に導く知財戦略【実践事例集】」 (2020年特許庁発行)にて当社知財戦略紹介



引用:https://www.jpo.go.jp/support/example/document/chizai_senryaku_2020/all.pdf

1. 知的財産と知財活動 | 知財活動のDX

知財活動を支える知財DXのビジョン・計画



1. 知的財産と知財活動 | 知財活動のDX

知財DXの実績

DXツールを独自開発し、知財活動の効率化（累計4,000時間以上）を実現

FY25

付加価値創造業務への転換

独自開発DB、検索式自動作成ツール等により、先行技術調査ワークフローを変革



知財業務・プロセスの変革

知財DXフロー

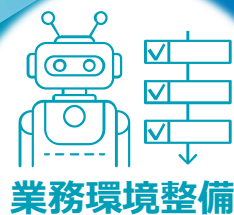
DXツールで発明情報取得

DXツールで検索式自動作成

最小の母集団作成

類似順ソート後、確認実施

20以上の自動化ツール

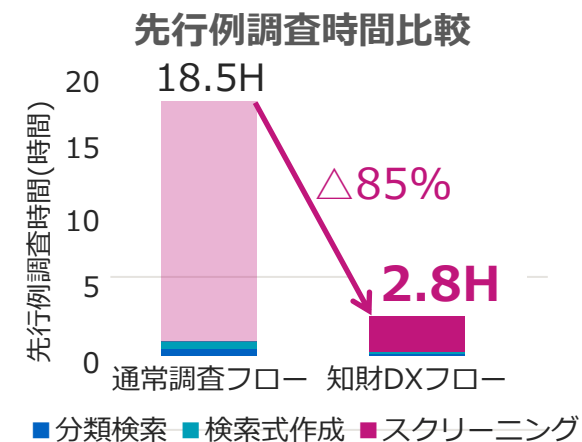


業務環境整備

20以上の知財業務の見える化ツール



知財業務の見える化



2. 中期経営計画を 推進する知財戦略

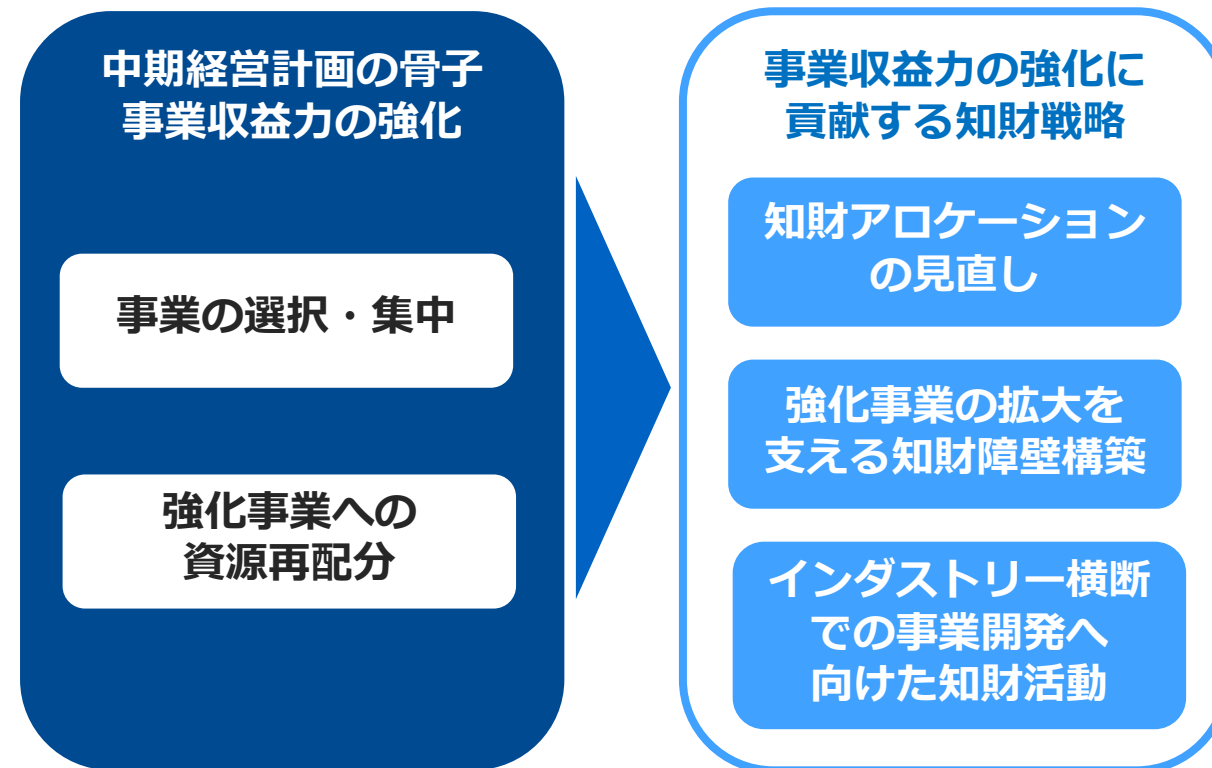


2. 中期経営計画を推進する知財戦略

中期経営計画を推進する 知財ガバナンス体制

中期経営計画を推進する知財戦略

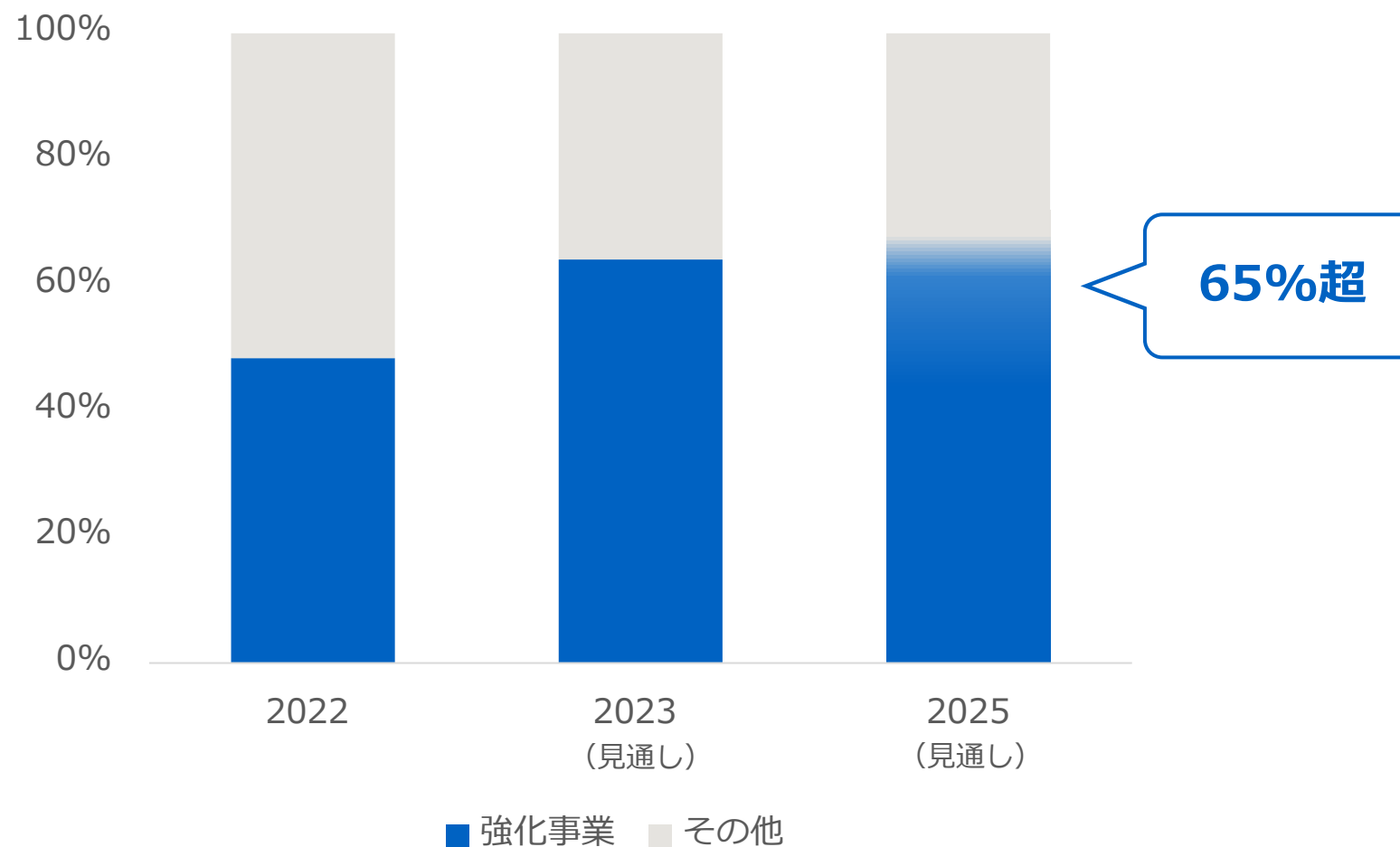
経営企画本部傘下で経営戦略と直結



2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

知財アロケーションの
見直し

知財投資の選択と集中を進め、強化事業の特許出願の比率を
FY25までに**65%超**に引き上げ

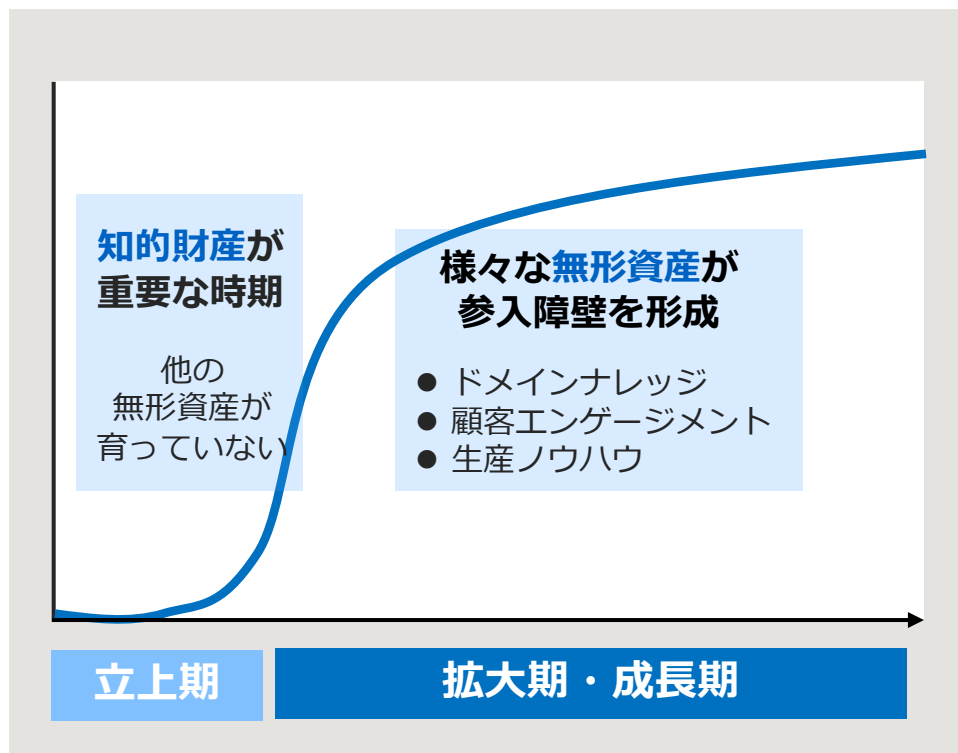


2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

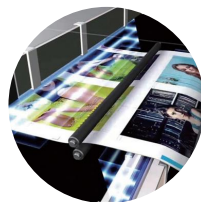
強化事業の拡大を
支える知財障壁構築

キーとなる製品・サービスにおいて、
知財による障壁を構築し、事業の成長を支える

事業ライフサイクルと無形資産

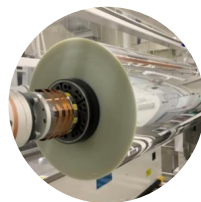


成長のキーとなる製品/サービス



プロフェッショナル
プリント事業

IQ-501
(自動品質最適化ユニット)



インダストリー事業

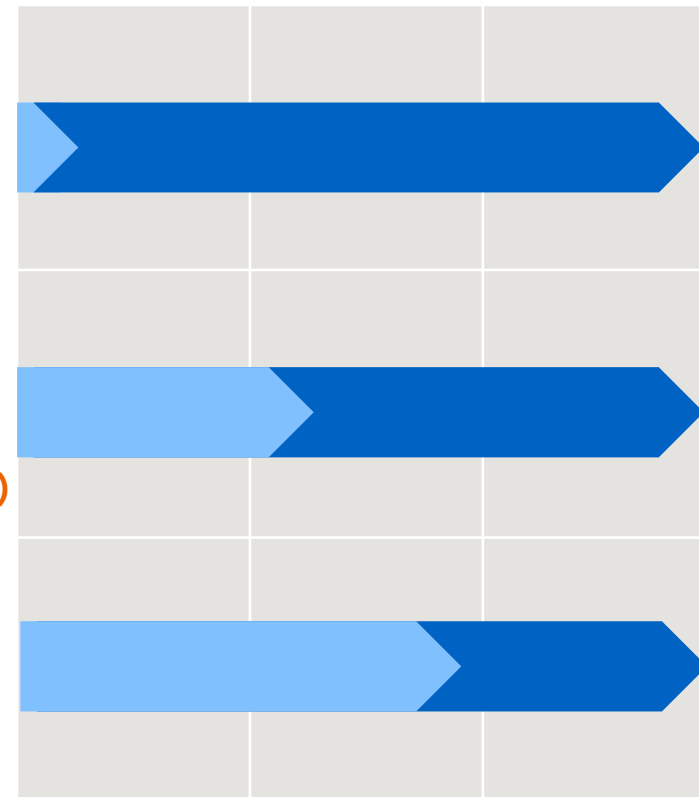
SANUQI
(ディスプレイ用フィルム)



ヘルスケア事業

X線動態解析

立上期 | 拡大期・成長期
FY19-22 | FY23-25 | ~FY30



2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

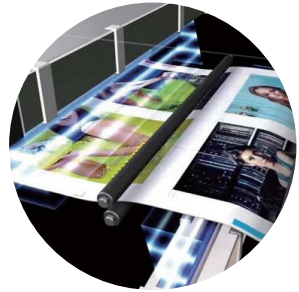
強化事業の拡大を支える知財障壁構築

プロフェッショナル
プリント事業

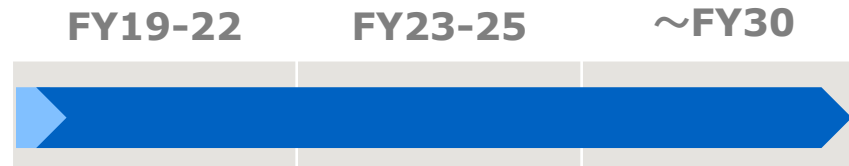


150
YEARS

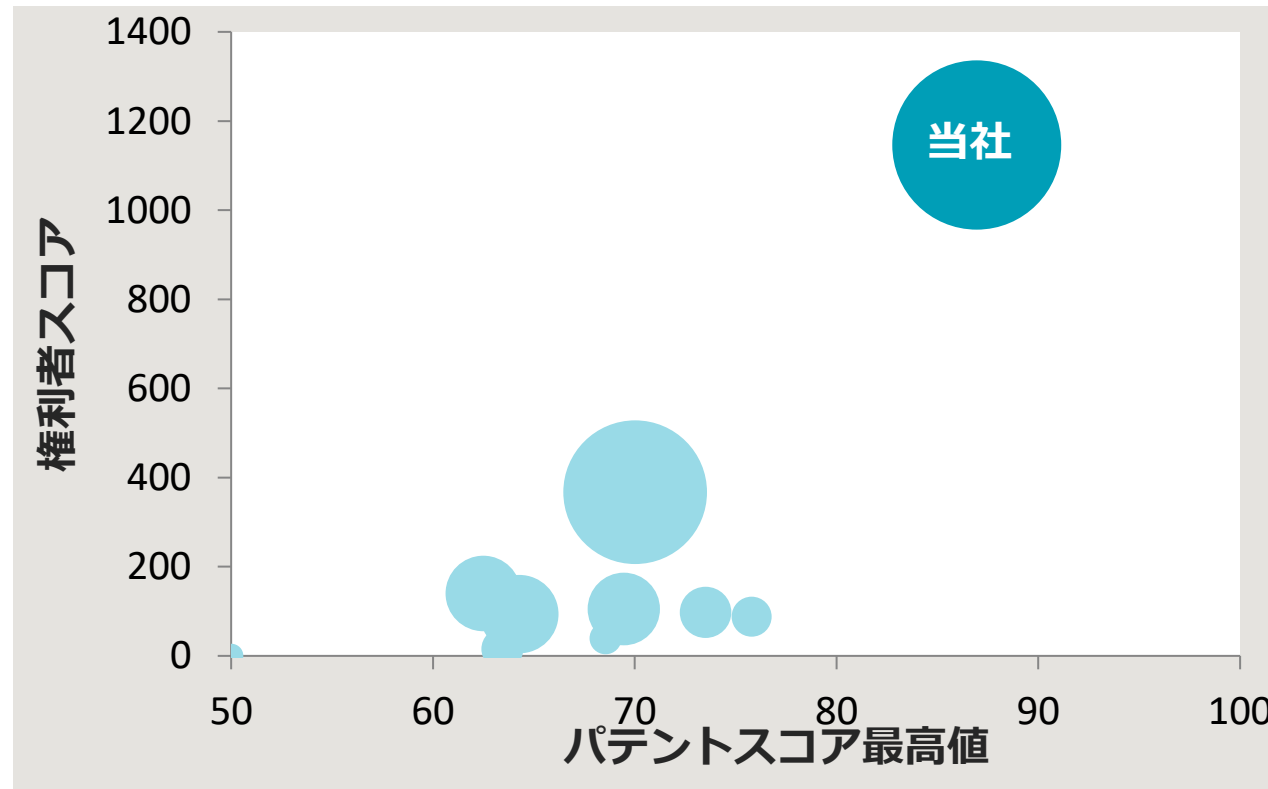
印刷現場での**自動化、省力化、スキルレス化**という新たな価値について
知財により参入障壁を構築。価格支配力を長期間維持することにより事業貢献



IQ-501
(自動品質最適化ユニット)



立上期 拡大期・成長期



注力領域に関する日本特許のスコアマップ

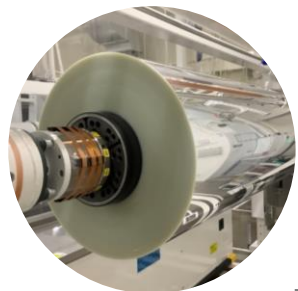
株式会社パテント・リザルトの特許分析ツール「Biz Cruncher」を用いて当社にて作成。円の大きさが各社の特許件数を、横軸が最もパテントスコアの高い特許の評価値、縦軸が特許群全体の評価値を示す。

2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

強化事業の拡大を支える知財障壁構築

インダストリー事業

薄膜、多様な機能の付与、広幅対応という価値を実現する「溶液流延+ベルト」方式製膜への集中出願により知財障壁を構築。大型ディスプレイ領域でのシェア拡大を支える



SANUQI
(ディスプレイ用フィルム)

FY19-22

FY23-25

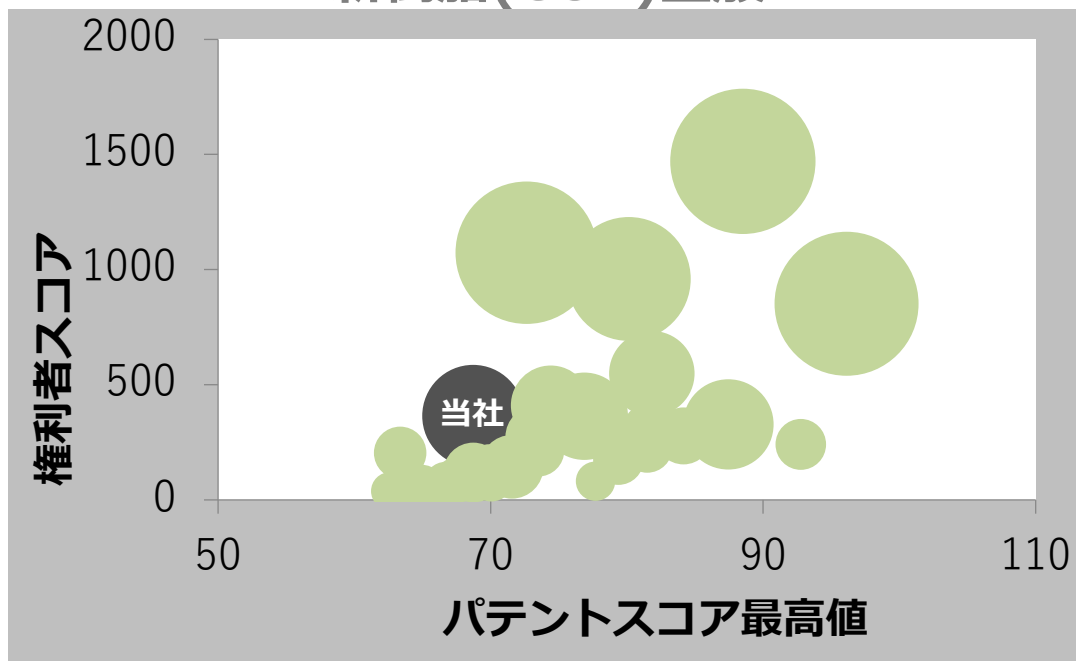
~FY30



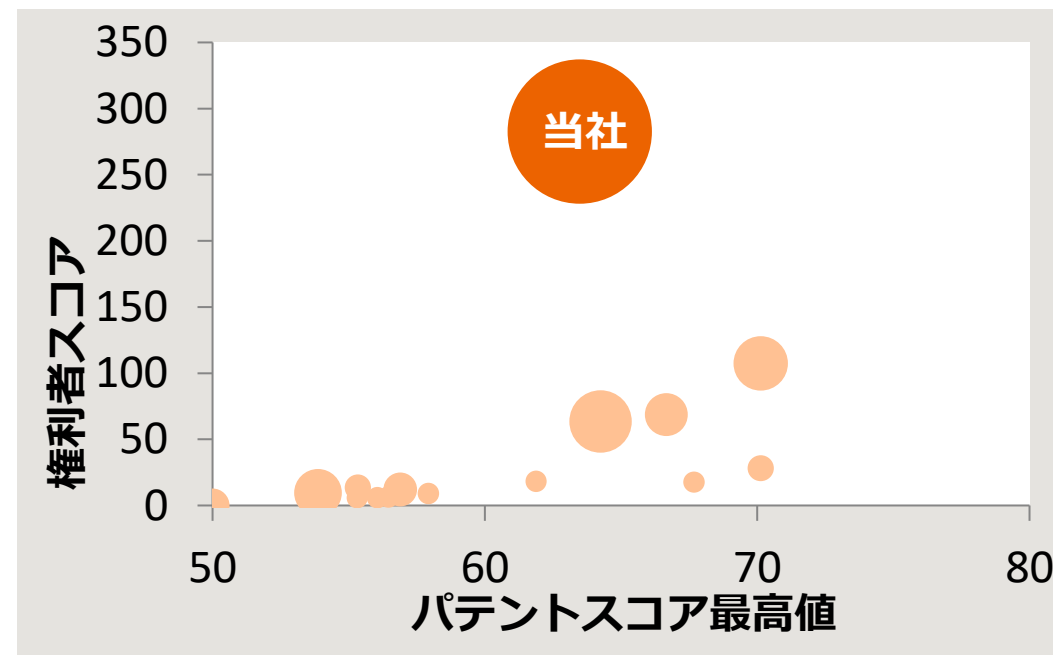
立上期

拡大期・成長期

新樹脂(COP)全般



「溶液流延+ベルト」方式関連



2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

強化事業の拡大を
支える知財障壁構築

ヘルスケア事業

臓器の“動き”や“機能”の観察、定量化による新たな診断を可能にする
X線動画撮影・動態解析技術について知財障壁を構築済み。
さらなる強化を継続し、事業拡大に貢献する

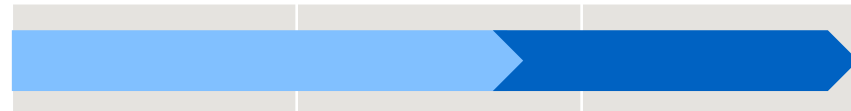


X線動態解析

FY19-22

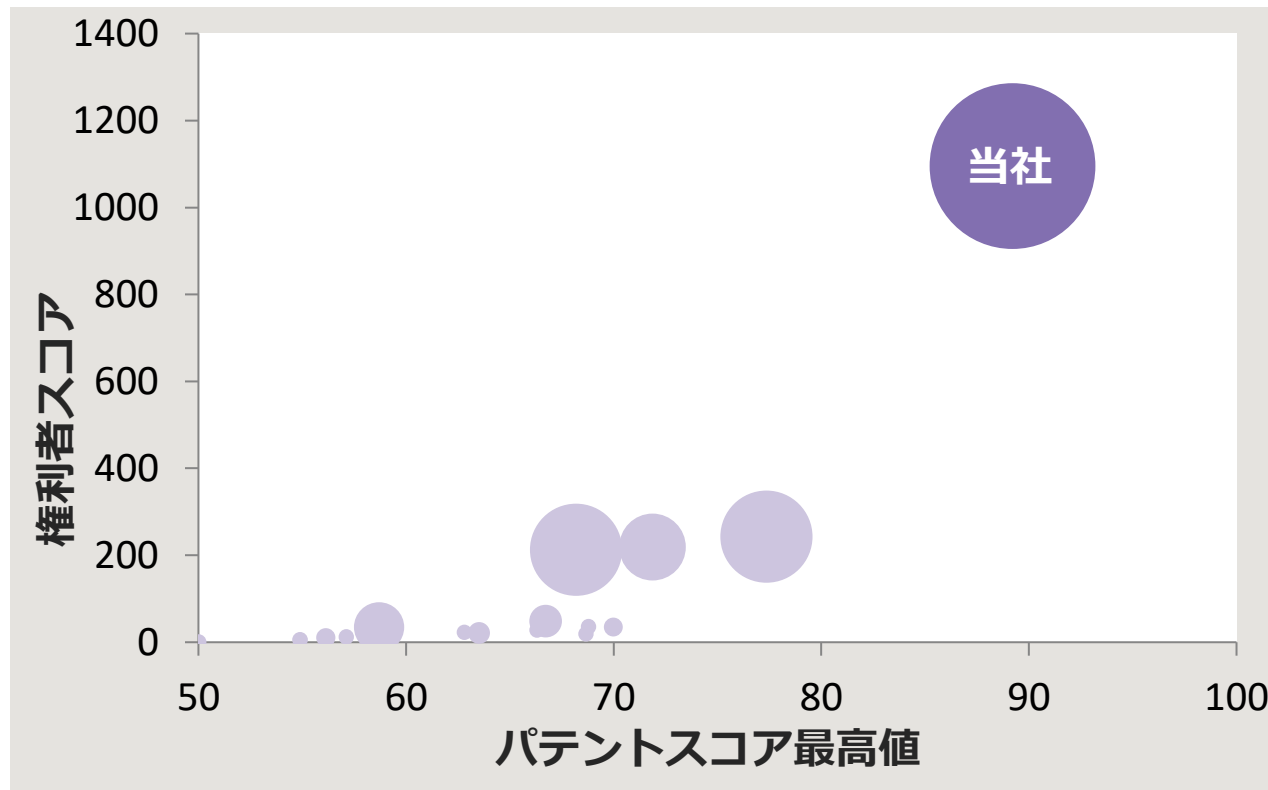
FY23-25

~FY30



立上期

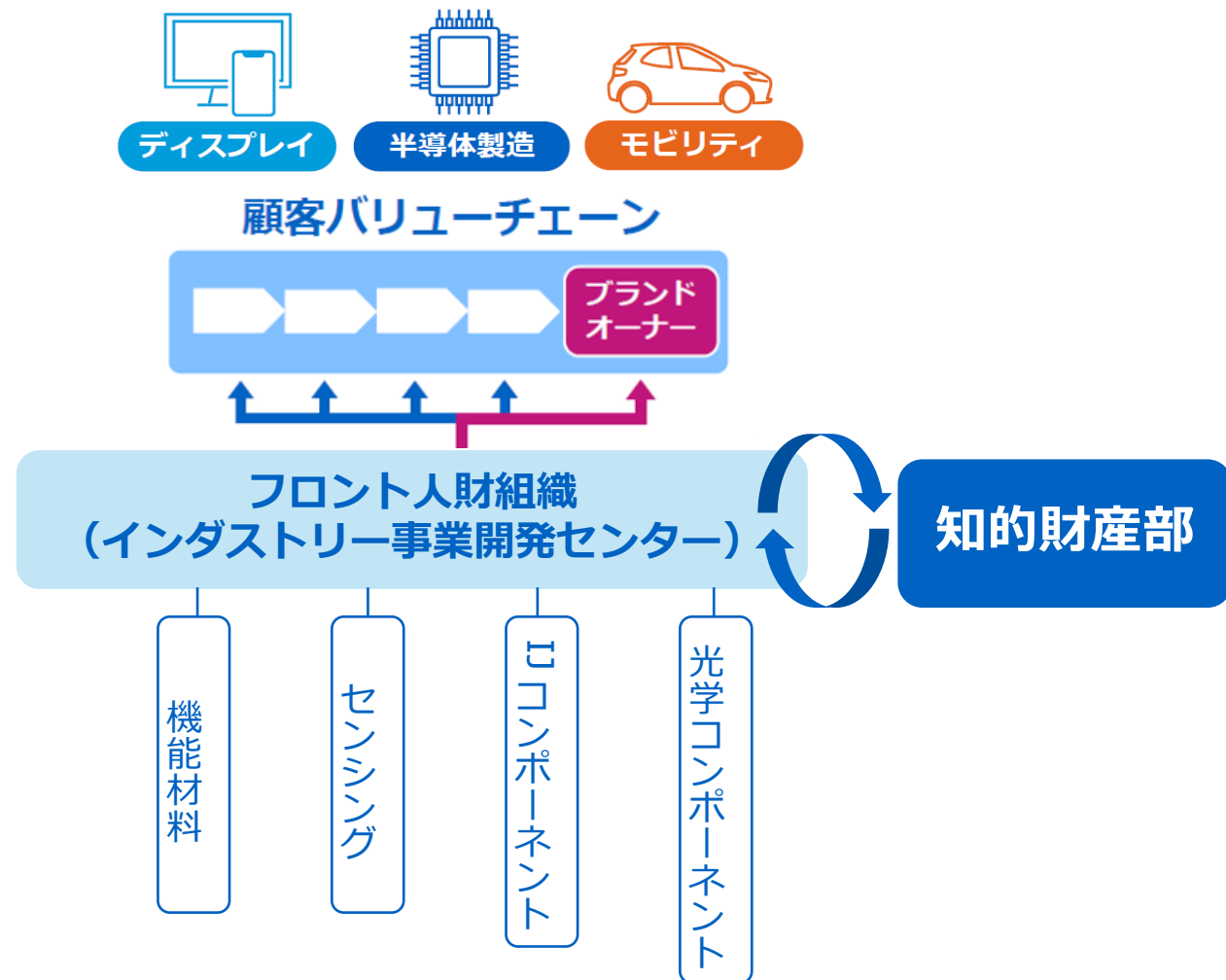
拡大期・成長期



2. 中期経営計画を推進する知財戦略 |

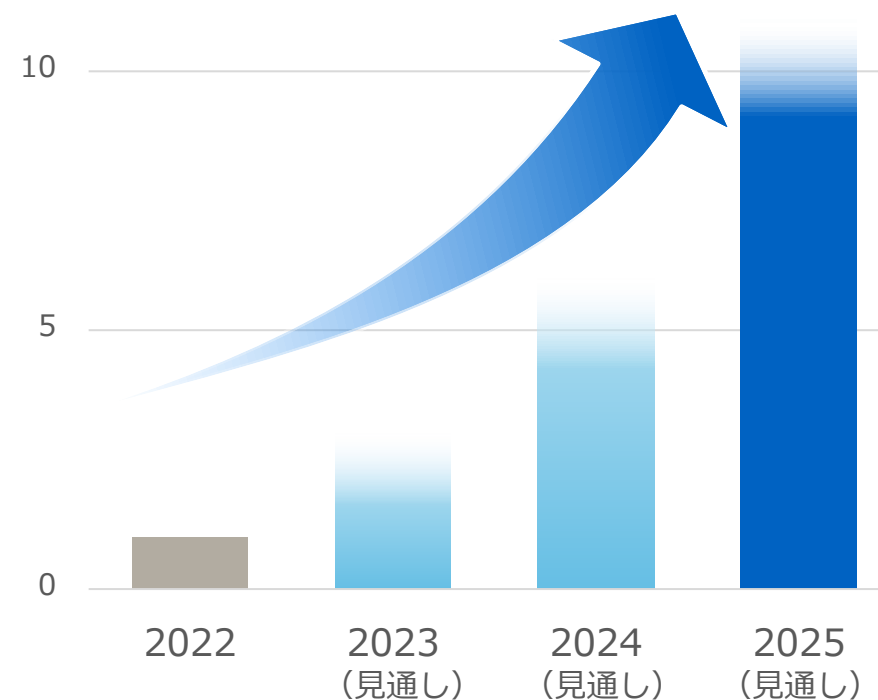
インダストリー横断
での事業開発へ
向けた知財活動

フロント人財組織と密着し、ブランドオーナーへ提案する
インダストリー横断の新たな価値を迅速に知財化



インダストリー事業横断関連 出願件数

2022年度を1とした時の指数



3. 最後に



3. 最後に

当社では、「知的財産報告書」を2004年から毎年発行・発信しており、今年が20回目の節目の年となります。こちらも是非ご覧ください。



2023年版 （12月11日発行）

https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/intellectual_property/index.html



KONICA MINOLTA

150

YEARS